

池田 東一郎 町長による町政報告会（第 1 回目）議事要旨

- ◆ 日 時：令和 6 年 4 月 27 日（土）13:30～15:30
- ◆ 場 所：国府支所 2 階会議室
- ◆ 内 容：令和 6 年度の主な事業と予算
- ◆ 概 要：資料説明後、参加者からの質疑応答を実施

質問 1 道路修繕に関する質問

道路に小さな穴が開いていることを町に相談した際に修繕できる予算がないと言われたことがあります。細かな内容でも修繕要望等を町に通報しても良いでしょうか。

回答 1

遠慮なく町に通報していただきたいと思います。穴を埋めるなどの簡易な修繕は、委託業者等でなく町職員が対応しています。昨年より体制を整え、速やかに対応しています。

引き続き、現状の即応体制を維持していきたいと考えています。

質問 2 「通いの場」に関する質問

「通いの場」に係る事業費が 100 万円との説明がありましたが、少なく感じています。先ほどの説明の中で、二宮町ではイベントなど、様々な取り組みをしているとのことでしたが、私自身、大磯町で「歌声サロン」という歌声喫茶を営んでいます。以前の説明から補助金の仕組みが変わり、予算が少なくなっていることから、100 万円という予算の中で何ができるか疑問に感じています。

なお、先日、町役場の福祉課で「通いの場」に係る補助金申請の手続きに行ったところ、計画が出来ていないとのことでした。

また、事業概要等の全体説明会などは開かず、個々に説明をするとのことでしたので、こういった担当課の姿勢をみると「元気なお年寄りを増やそうという」目的をめざしているとは思えません。

また、昨年、一昨年と参加した介護予防の会議では、会議の進行をほぼ外部の人に丸投げしていたため、司会ぐらいいは、町職員で対応できないか尋ねたところ驚いた様子でした。

回答 2

100 万円については、「通いの場」事業で活用できる補助金であり、1 回 1,000 円を補助するものです。この他にも多くの財源を、介護予防をはじめとする福祉施策に対して措置しています。

「通いの場」事業については、担当職員としても「通いの場」がなかなか普及していないことから、より良い事業組成に向けた調整も含め時間がかかってしまったのではないかと思います。しかしながら、遅れてしまっていることについては大変申し訳なく思っています。私から担当職員には、早急に対応するよう促し、「通いの場」事業以外にも活用でき

る補助があるため、そういった説明を丁寧にするよう福祉課から連絡させていただきたい
と思います。

質問 3 町の医療に関する質問

徳洲会湘南大磯病院内に新しい病院ができるとのことですが、今後の計画や町で把握し
ている情報があれば教えてください。

回答 3

徳洲会湘南大磯病院は、東海大学から移管して、昨年 3 月頃に徳洲会の病院としてオー
プンしています。理事長の考えとして医師をはじめとする人材確保の観点等から老朽化し
た施設を一新するため、大磯町内で建替え場所の検討を行った結果、現在の湘南大磯病院の
敷地内にある駐車場に建替えをすることになったと聞いています。

現在は、病院建替えに向けた設計を行っているところであり、来年から着工して 4 年後に
は完成する見込みであるとのこと。

なお、「小児科」の運営が上手く回り始めたところであり、4 月からは「婦人科」の医師
が配置されています。次のステップとして「産婦人科」を開設できるような体制整備をお願
いしています。「小児科、婦人科、産婦人科」等を開設することで病院の建設費用を補助し
てもらえる国、県の補助金もありますので、大磯町としては、そういった財政的な案内を含
め、子育て支援につながる、「小児科、婦人科、産婦人科」の開設支援等を全面的にバック
アップしていきたいと考えています。

また、病院までのシャトルバス等の移動手段についても、要望を受けていますので、徳洲
会湘南大磯病院も一緒になって考えているところです。

質問 4 病院に関する質問

病院の建替えや診療科の新規開設などを検討しているとのことですが、医師の配置状況
によって、受診する曜日が限定的になるのは困ってしまいます。

病院の建替えも進めてほしいですが、併せて医師の配置状況や町民の利用状況も含め、町
には経過観察してもらいたいと思います。年配の方だけでなく、子育て世代にとっても医療
体制の充実は必要なことなのでぜひお願いしたいと思います。

回答 4

産婦人科や小児科といった診療科の開設の説明をさせていただきましたが、「通いの場」
事業との連携を想定しています。各地域で実施していただく際に、病院の看護師や保健師、
栄養士の方々にも参画いただけるようお願いしており、食事や健康の話題を通して病気の
予防、生活習慣の改善などを直接お話しいただける場をつくりたいと考えています。

質問 5 「通いの場」に関する質問

広報と一緒に配布された生涯学習課のパンフレットの中に太極拳や歌声、麻雀等のイベ

ントが記載されていたため、担当職員に「通いの場」の話をしたところ、認識がないようでした。「通いの場」事業については、町職員にも周知をお願いしたいと思います。

回答 5

本件に関しては大変申し訳なく思っています。教育委員会にも情報共有を行い、事業が重ならないよう調整させていただきます。

質問 6 道路工事及び高齢者施策「通いの場」に関する質問

道路工事について、整備がきちんとできていない場所があります。施工業者が悪いのかもしれませんが、場所によっては、きちんとできているため完成検査等しっかりと行っていただきたいです。高島町長の時代には、「ピンピンころり」というような施策を打ち出していました。そういった経過も踏まえ、年配の方々は、自分自身がしっかりと元気でいられるように努力する必要があると思いますが、町としても年配の方々が元気でいられるような施策を考えていただきたいと思います。

回答 6

道路工事については、道路以外にも水道、ガスなどすべての工事を終えたあと、まとめて整備する場合があります。ただ、各担当において完成検査を実施しているため、気になる部分があれば担当部署へご相談いただきたいと思います。

「ピンピンころり」というのは以前からあった考え方ですが、表現的には好ましくないため最近では使われなくなりました。私の政策集でも掲げていますが、生活習慣を見直すことで健康寿命を延ばしていくという考え方です。

今年度取り組む「通いの場」を通して、体操やカラオケなどに参加していただき、継続的に取り組むことで日々の生活を見直していただければと考えています。

あくまでも「通いの場」は生活習慣を見直すきっかけの1つとして捉えていますので、「通いの場」以外のところで、日々の食事や健康など自身を気遣い、考えることが大切です。

「通いの場」は今年から始まる新しい事業であるため、先ほども申し上げましたが医師をはじめとする専門家の話を直接聞ける場の設定や、町民の皆様の気持ちを汲みながら進めていきたいと考えていますので、至らない点もあると思いますが、ご理解いただければと思います。

質問 7 「通いの場」に関する質問

例えば、パソコン講座や動画講座などは平日に開催していることが多く、年配の方でも週5日仕事をしている方もいられるため、土曜、日曜の休日に参加できるような機会も作ってほしいと思います。

回答 7

現状では、ご指摘のとおりご年配の方向けの講座等については、会社を定年されて働いていないことを前提に、平日に実施していることが多いかもしれません。最近は、定年後にもい

ろいろな形で働く機会であったり、社会参加をされることが多くなっていると思います。

土曜、日曜の開催が検討できないか担当に伝え、改められるものから対応していきたいと思います。

質問 8 土地利用（市街化調整区域）に関する質問

ポスターに調整区域の見直しについての記載があったと記憶していますが、こういった考えがあったのかお伺いします。先ほど、人口減少の話がありましたが、市街化区域が増えれば、住宅が建ち、環境の良い大磯町への転入者が増えるのではないかと思います。

あるいは、市街化が難しければ、二宮町梅沢のあたりにある総合体育館のような多目的な体育施設を建設することで災害時には緊急避難場所としての活用も見込めるのではないかと思います。現状では、大磯町だと小・中学校の体育館しかないため、そのような考えがあれば教えていただきたい。

回答 8

私が県議会議員の時に、同様に報告会を行っていた際に富士見地区（虫窪、黒岩、西久保）からも多くのご相談をいただいていた市街化調整区域の内容です。

市街化調整区域内の土地は、例えば、農家の子どもの息子だけ建てられる等の特定の条件以外は住宅が建てられないなどの制約があります。

一方で、地元の皆様からは、みかんの販売価格の低下、高齢化、あるいは、人手不足によりみかん畑を管理することが厳しくなっていて、畑を手放したいとの声や住宅地として開発してほしいとの声があがっていました。私が選挙の時に、政策集の中にいれていたので、県の職員に相談させていただきました。その結果として、大磯町は人口が減少する見込みであるため、広げるのは認められないとの見解をいただきました。大磯町としては、人口を増やすために住宅を増やしていきたいとの意向がありますが、神奈川県としては見通しが無い場合は、市街化調整区域は広げられないとのことで上手く話が進みませんでした。

そこで、市街化調整区域の中でも、地区計画という都市計画を作ることによって住宅やお店を建てる事が出来る事が担当者の調べで分かりました。

したがって、地区計画を作ることによって市街化調整区域を変更することと同様の手続きが出来そうなので、今後、富士見地区の方々と地区計画をどのように作るか意見交換を行う準備を進めています。

しかしながら、この地区計画を作ると、税金が何倍にも上がってしまうことになるため、地区計画を作る際には土地所有者全員が納得したうえで進める必要がありますので、そういった意見調整を皆様と一緒に行っていきたいと思います。2月に会議がありましたが、皆様のご期待に答えられるように進めていきます。

体育館を別の場所に建設すると余分に費用がかかってしまうことや、使用が制限されてしまうため使いづらくなってしまいます。交付税や補助金も使えないことはありませんが、

中学校、小学校の大規模改修や建替えの際に、町民の皆様がもう少し借りやすいようなシステムにすることを私は考えています。

今後、町議会とも相談してそういった方向でお認めいただければ進めていきたいと思いますが、まだ具体的な話にはなっていません。

基本的な考え方としては、単独で体育館を建設すると費用面等の課題もあるため、他の公共施設と同様に学校施設として体育館を整備し、地域の皆様が利用できるような仕組みを組み込むことで、効率よく利用できるような形にしていきたいと考えています。

質問 9 再生可能エネルギーの利用に関する質問

地球の気候変動によって、夏場は 35℃以上になっています。少しでも緩和するために、公共施設への再生可能エネルギーの導入を検討できないでしょうか。

回答 9

再生可能エネルギーも色々な形で町政に取り入れていきたいと考えています。

一方で電力消費を減らしていく取組みも重要であり、町役場や学校等の公共施設の建替えの際にはそういった視点も踏まえながら具体的に進めていくことになります。太陽光パネルを利用して一部電力を賄うことなどを検討していきたいと思います。

また、電力の節約も大切なことであり、街路灯のLED化を進めていますが、LEDに変わることで大幅に電力消費を抑えることが出来ます。

今後も再生可能エネルギーの調達や電力の節約といった取組みを進めていきたいと思っています。町民の皆様においても、日々心がけていただくことが大切であるため、昨年秋には、町主催のエネルギー講演会において「断熱」をテーマに講演を実施しました。断熱をすることで、エアコンの電力及びガスの消費を大幅に抑えることができます。その他にも窓を二重にするといった対策もありますが、窓にシートを貼る方法などお金をかけずにできる対策も色々あります。

6月 は環境月間であり、広報おいそ6月号で「断熱」をはじめ、省エネ等に関する特集を掲載する予定ですので皆様と一緒に環境問題を考え、取組みを一步步進めていきたいと考えています。

質問 10 新庁舎整備（津波対策）に関する質問

東日本大震災クラスの地震が発生した場合、飲み込まれてしまう可能性が高いと思いますが、新庁舎整備で津波対策の防壁がいなくなった経緯を教えてください。

回答 10

新庁舎は現在の駐車場の場所に建設予定のため、海拔が少し高くなります。

また、想定する1000年に1回レベルの津波の最大規模は、床から約1m20cmの想定であるため、地下をなくせば浸水はせず、防護壁はなくても良いことが分かりました。

つまりは、そのような構造であれば、地方交付税がもらえることが分かりましたので、議

会に対して町から提案を行っています。

質問 11 大磯式部活動に関する質問

一般の人を講師にして問題が起こった場合、どのような措置を行いますか。

回答 11

先生や一般の人に限らず、大磯式部活動に携わる前に研修を受けていただき、改めて言動や行動等の基本事項を確認してから部活の指導に携わっていただく形にしています。

質問 12 大磯式部活動に関する質問

テレビやメディア等では、話題になっていますが、問題を起こした人に対する処罰は注意だけで罰則などの措置は取らないのでしょうか。

回答 12

事象によって、一般的な刑事罰が科せられる場合や民間の損害賠償が請求されることになると思います。

質問 13 町の財政に関する質問

毎年4月広報で当初予算の説明がありますが、歳入の中で町税額が変化していません。個人町民税が23億円(2.4%)で、特に法人町民税は1億円しかないため、予算は町民税が主になって作られていると思っています。

以前は大企業がいくつか町内に点在していたが、現在は日本端子しかありません。

また、日本端子も足柄方面に移転するとの噂も聞いているので、例えば法人税を増やして、町民税を減らす、あるいは別の事業に使うなど考えていることはありますでしょうか。

回答 13

一般的に町民税を増やすには、町民の皆様の所得を増やす、また、固定資産税を増やすには土地の値段が上がることで財源の確保に繋がります。

町役場で政策的に財源確保に努めていますが、限界があるため、市町村財政の仕組みが重要であると考えています。税収が増えることも大切ですが、町役場の意向通りに活用出来ないこともあるため、現状をキープしつつ、ふるさと納税をはじめとする税外収入の確保や補助金、地方交付税を活用して町民サービスを向上させていきたいと考えています。

質問 14 町の財政に関する質問

税外収入を上手くコントロールすることは出来ないでしょうか。

回答 14

税収をあげるためには、税率をあげるのが最善策だと思います。

しかしながら、地方公共団体の制度上、税収をあげるために、税金を重くすると、確かに税収が増加しますが、地方交付税が減ってしまうため得策でないと考えています。

質問 15 町の財政に関する質問

町に対する地方交付税を増やす方法がありますでしょうか。

回答 15

地方交付税は、財政状況が良くない市町村に交付されるものではなく、もともとなってるのは国の税金であり、町民の負担が重くならないような配慮によって交付されます。自治体による税收格差を埋めようとするのが地方交付税であり、取りすぎるとか遠慮した方がよいなどは、私としてはあまり考えていません。

質問 16 サッカースタジアム（湘南ベルマーレ）の誘致に関する質問

湘南ベルマーレが新スタジアムの建設に関する平塚市との話し合いがあまり上手くいったそうなのですが、近隣の市町村に移ることになった場合、大磯町が手挙げをする可能性はありますか。

回答 16

正式な話し合いの場ではありませんが、候補地についてのお話を伺っていました。

大磯町ではNCR跡地を候補地として挙げましたが、敷地が狭く、もっと広い敷地でないと難しいという話をいただいています。

質問 17 人口減少対策に関する質問

単純に人口を増やすだけでなく、年齢層のバランスも重要だと思います。

高齢化はどうしても避けられない課題であるため、体力的に動ける人を増やすことや町内で生活している方の負担を軽減することで大磯町内にいる体力的に動ける方の流出を防ぐことが重要であると思います。そういった対策はありますか。

回答 17

人口が減らないようにするためには、子育て世帯の移住促進と同時に、住めば健康になるような町をめざして、福祉・健康施策を進めています。

質問 18 人口減少対策に関する質問

若い世帯でも、子どもがいない方々もいます。現状、出産する方が減っているという状況の中で、子育て世帯だけを集めるのは難しいと感じています。年齢はともかく、体力的に動ける方々など、間口を広げないとなかなか人は集まらないと思いますが、そういった視点での考えや対策はありますか。

回答 18

今のところ、子育て世帯の移住促進というのはかなり大きな柱になっています。

そのため、将来、子育てをしたい方に向けて小学校給食費の無償化、18歳までの医療費助成拡大、公園のリニューアル等子育て支援対策を充実させており、子育てを検討されて

いる方々には魅力的かもしれませんが、子どもを望まないという世帯にはそこまで魅力がないのかもしれませんが。そのような方々にアプローチをしていくには、交通の便や買い物の便を充実させる取組みを進める必要があります。令和6年3月に地域公共交通計画を改定し、車がなく、運転が出来ない人向けにタクシーを活用していただくことで、交通の便を向上させていきたいと考えており、いくつかの施策に着手していきます。

質問 19 人口減少対策（高齢化）に関する質問

高齢化が進むと、地域の草刈り等を動ける若い方を中心にやることになるため、負担が増えてしまいます。そのようなときに、町で作業を手伝っていただくことは出来ないでしょうか。

回答 19

簡易的な道路補修や道路の草刈りについては、町役場でも直接現場に行くなどしているため、ある程度のご要望には速やかに対応できると思います。

地区でやっていただくのは大変ありがたいですが、手が足りない、危ないという場合は町役場に相談をしていただきたいと思います。内容によっては、現場で職員が判断して速やかに対応できると思います。

質問 20 町内店舗の周知に関する質問

ここ数年で新しいお店が出てきていますが、自分1人で探すのはなかなか大変ですので、お店を紹介するパンフレットなどを作る予定はありますでしょうか。

回答 20

様々な形で情報発信していく必要があると考えています。

今後は、町ホームページの整理や見せ方の工夫をはじめ、LINE、Facebook 等の SNS を活用した情報発信を行いたいと考えています。

質問 21 ハイキング道の整備に関する質問

湘南平や高麗山のハイキング道の整備をした方が良いのではないかと思います。

また、高来神社の氏子総代、御船祭の関係者はそれぞれ人手不足の課題があるため、協力することでお互いにとってメリットがあると思いますが、協力し合う関係性までには話が進んでいません。町が間に入って協力を促すなどの働きかけは出来ないでしょうか。

回答 21

ハイキング道については、高麗山は県有林のため改めて県に整備していただけるよう、今日の要望も踏まえて町から相談させていただきます。鷹取山の尾根付近は私有地が多いため、思うように整備が進んでいませんが、関東ふれあいの道の部分は、環境省が管理しているため、環境省と力を合わせて所有者の方たちに整理していただけるように進めていければ良いと思います。

また、お祭りの手伝いは相互に協力することが良いと思いますし、お祭りという場を通じて交流することで絆も深まると思います。町が間に入って取り組んでいき、お祭りも去年より盛り上げるようにやっていきたいと思います。

質問 22 郷土資料館、旧吉田茂邸の利活用に関する質問

郷土資料館でボランティアをしています、とても良い施設なのに来場者が少ないと思います。もう少し人が集まるように、旧吉田茂邸までのアクセス向上のために駐車場等を利用しやすくするなどの工夫はできないでしょうか。

回答 22

郷土資料館は、県の土地であるため、町の意向だけで進めるのは難しいところですが、アクセスについて、町で出来ることはないか研究していきたいと思います。

また、入場者数を増やしていくために、魅力的な展示を行っていきたいと考えています。

質問 23 新庁舎整備に関する質問

新庁舎整備に伴い、ボランティアセンターができるのではないかとこの噂を聞いています。また、数年前からボランティアセンターを大磯町として設置してほしい旨の要望をしています。平塚市の場合は、市民が何かをしようとする時に場所を借りたり、備品を預けたりすることができ、さらに、市民団体の方がその場所に集まることで、情報交換の場としても有意義に活用できると聞いています。

また、「通いの場」の説明の中で太極拳の話がありましたが、土日でも実施している場所は多くあるのに情報が届いてないようです。町ホームページ検索すると時間がかかってしまうため、情報を手に入れやすい場所に作ることを検討してほしいと思います。

回答 23

新庁舎の中にボランティアセンターという形で設置できるか、現段階では、お答えできませんが、そういった要望も踏まえ、検討していきます。

また、ホームページにボランティア等の情報コーナーを作ることは出来ないか、担当に確認を行います。

質問 24 土地利用に関する質問

平塚のアウトレットの近くに 3000 軒の注文住宅が建つという噂が出ていますが、大きな商業施設を作ってから住宅を建てるのが良いのではないのでしょうか。

回答 24

おそらくそういった見込みでやっていると思われますが、平塚市に話を伺った際に見込みははっきりしていない旨の回答をいただいています。

質問 25 イベントに関する質問

大磯のイベントで可能な限りアンケートを取ったところ、町外の方の参加も多くありました。もっとイベントを盛り上げれば、参加者が町内店舗等でお金を使っていただくことで財政的に良くなるのではないのでしょうか。

さらに、海外の方々の参画を促せると、より良くなるのではないかと思います。

回答 25

これから先は外国からも人を呼び込むことが必要だと思っています。日本中に外国の方がいますが、例えば銀座、箱根、京都では、平日でも観光客が多いですが、大磯はほとんどいない状況です。裏を返せば、伸びしろがあると捉えていますが、現在は、優先的に子育て支援や福祉施策に取り組んでいるため、観光の誘客策まで手が回っていませんので順次、取り組みを進めていきたいと考えています。